



ロッキー通信 No.1

学校教育目標：「豊かに育つ生徒」
～「挑戦」と「創造」～
校訓：「求学・親和・創造」

「プライオン 思いを力に！」



R8.4.7 (火) 発行 文責 校長 六山 和弘

【生徒・保護者の皆さまへ】

いよいよ本日から、令和8年度の学校生活がスタートします。
今年度も昨年度同様に、特に「自分らしさ」・「生徒ファースト」を基本理念に据えて、生徒が「自らの学び」を追求していけるように、ワクワク・ドキドキのさまざまな仕掛けを準備してまいります。今後も、この通信をとおして学校や生徒たちのようすを情報発信していきたいと考えておりますので、よろしくお付き合いください。

学校長 六山 和弘

まずは、令和7年度末の仲間の反省や振り返りを再確認

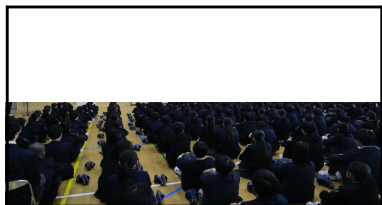
1年間を振り返って
1年5組 立川 琉生

僕は、中学生になって小学校とは違う環境で不安や心配なことがたくさんありました。しかし、それを乗り越え成長したこともたくさんありました。僕は、この1年間で身についたことが2つ、2年生で頑張りたいことが2つあります。できるようになったことの1つ目は、勉強の仕方です。小学校と中学校では勉強のレベルが全然違いました。小学校の頃は、時間をかけて取り組むことをしませんでした。しかし、中学生になって難しくなると勉強することを意識し始めました。でも小学校の頃は勉強の仕方を教わっていなかったの、どんな方法で進めていけばいいのか分かりませんでした。しかし、2学期、3学期になるにつれて要領が分かってくるので、テストでも結果が伸びてきたことで不安は次第に消えていきました。このことから僕は、がむしゃらに勉強しても意味がないことに気づき、効率良く頭に切りやすい勉強を心がけました。2つ目は、部活に入ってから成長したこと。入部した頃は、土日の練習や夜練がきつくて大変でした。しかし、続けたおかげで体力がつき、前より上達し楽しく取り組みました。さらに粘り強く頑張ったおかげでメンタル面が強くなり、きついことから逃げない根性がつきました。これらさまざまな場面で生かしていきたいです。次に2年生で頑張りたいことです。1つ目は、集中力を身につけることです。僕は、集中している時としていない時で結果が大きく変わります。部活動では、集中した時としない時で勝敗が変わったことが度々ありました。だからそのためにも2年生では集中力を身につけたいと思いました。2つ目は、あわてず落ち着いて行動できるようにすることです。僕は、心にゆとりがないとミスしたり、うまくいかなくなってしまうことがあります。試合でミスした時やテストで時間がなくなってしまった時、あわててミスをするすることがありました。だから、これからは進んで緊張する体験をして、「できた」という喜びや経験を積み重ねることで自分に自信をつけていきたいと思っています。僕の中学校生活はあと2年しかありません。この2年間をどう過ごすかによって自分が大きく変われると思っています。4月から新しい気持ちで自分の挙げた目標に向かって、たゆまない努力をしていきたいと思っています。



1年間を振り返って
2年3組 富浦 歩乃花

私がこの1年間で心に残っている出来事は、合唱コンクールと生徒会活動です。私は1年の合唱コンクールで文化委員を務め、今年もやりたいたいと思ひ、文化委員になりました。最初の方は、皆真剣に練習に取り組んでいましたが、毎日練習することに飽きを感じてきたりする人、日に日に開いていく他クラスとの差を感じ、やる気をなくしていく人が出てきました。そこから練習もうまくいかず、クラスとしてのまとまりがどんどんなくなっていきました。そんなクラスをどうにかしようと、パートリーダーや指揮者、文化委員みんなで毎日放課後、今のクラスの課題や練習方法などを話し合いました。そして、合唱コンクール本番の日。結果は、賞をとることはできませんでした。クラス全員が今まで一番良かったと思える合唱ができてとても充実できました。私はこの合唱コンクールをとおして指示を出し、まとめることの難しさを改めて感じるとともに、達成感を得ることもできました。2つ目は生徒会活動です。委員長に立候補するとき、本当に自分に生徒会役員が務まるのだろうかと思っていましたが、学校を引っ張っていく存在になりたいと思ひ立候補し、美化委員長になることができました。最初は生徒会役員という重圧やわからないことばかりあり、不安しかありませんでした。しかし、来年度のスローガンを考えたり、専門委員会を行うことで仕事にも少しずつ慣れ、生徒会役員という責任は自分を成長させるための1つとなりました。私はこれから学校を引っ張っていくリーダーとして信頼される人になりたいです。みんなを引っ張っていく人が周りから信頼されている人だったら、自分もその人を頼りにし、ついていきたいと思っています。そのような人になるためには、日々の小さな積み重ねが大事だと思います。あいさつや返事、生活態度、係活動などから意識し、周りから信頼される人になれるようがんばりたいです。そして、最高学年となったいま、この西大村中学校を引っ張っていき、よりよい学校にしていかなければならない自分自身、そして学年全体が自覚しなければなりません。私たち2年生はメリハリのなさや考え方の足りなさで注意されることも多かったです。しかし、そんな学年のままでは学校を引っ張っていくどころか、後輩に示しがつかないと思います。ですから、誰かと接するときや何かを行うときなどどんなときもしっかり考えて言動を行うようにしていけば、注意されていたことが改善されていくと思います。元気のよいところなど良い部分は伸ばし、悪い部分は改善していくことが大切だと思います。しっかり目標に向かって、最高学年としての自覚をもち、責任ある行動をしていきたいです。



令和7年度、涙の離任式の様子を紹介します

毎年のことだけど、やっぱり別れは寂しくて辛いものですね。
でも、それぞれの先生方との出会いや教えはずっと大切にしていきたいですね・・・。
今さらですが、離任式の様子を振り返ってみましょう。

【生徒代表お別れの言葉】

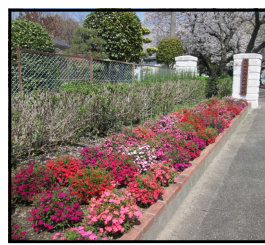
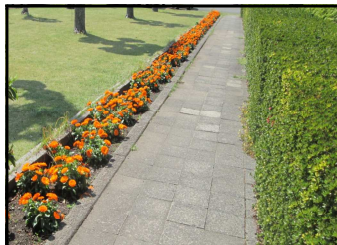
本日離任される先生方、これまで私たちのためにご指導いただき、本当にありがとうございました。私は入学してまだ1年ですが、この学校で過ごす中で先生方のさまざまな姿を見てきました。体育大会では、朝早くから練習する生徒に付き合うため、誰よりも早く学校に来て待っていてくださる先生方もいました。合唱コンクールの前には、朝や昼休み、放課後まで学級の生徒を見守り続けてくださる先生もいました。また、毎朝外に立ち、私たちに声をかけてくださる先生、部活動で毎日のように真剣に指導してくださる先生の姿もありました。

垣内教頭先生、休み時間に廊下で気さくに話しかけてくださるのが、とても楽しかったです。
帯田先生、いつも私たちに寄り添って優しく接してくれました。
村山先生、給食の時間に優しく声をかけたり、いつも支えてくださいました。
明時先生、優しく、時には厳しくご指導していただきました。
西先生、朝から明るいあいさつをさせていただいたおかげで1日ががんばろうと思えました。
田添先生、勉強でも部活動でも熱心に指導している姿が印象的でした。
貞松先生、生徒会の手助けをしていただきとても助かりました。
堀尾先生、集会時の呼びかけや常に先頭に立って私たちを導いてくださいました。
宮崎先生、先生の明るい笑顔にいつも元気をもらっていました。
中嶋先生、体育大会で生徒みんなの心をひとつにして盛り上げてくれました。
そんな先生方の姿に、私たちは何度も励まされてきました。
先生方が教えてくださったのは、教科書の内容だけではありません。
最後まで諦めないこと、人のために力を尽くすことの大切さを、日々の姿を通して教えてくださいました。3年生の先輩が卒業され、学校に少し寂しさを感じていた中で、今回さらに多くの先生方が離任されると聞き、私たち在校生は大きな寂しさと不安を感じています。
ですが、先生方が残してくださった言葉や姿は、これからもこの学校の中に生き続けていくと思います。その思いを大切にしながら、先生方が築いてくださったこの学校を、これからは私たち在校生が守り、さらによりよい学校にしていきたいです。
先生方、本当にありがとうございました。私たちは、先生方から受け取ったものを胸に、これからもこの学校でしっかりと歩んでいきます。



このように花たちも咲き誇って、皆さんの登校を待っていましたよ

どこの景色かわかりますか？



用務員の山本さんと松尾さんが、心を込めて整備してくださった素敵なこの環境を私たちも大事にしたいね。
今度は、生徒の皆さんと一緒に夏に満開のひまわりを咲かそうよ。
一緒に頑張ろうね。
さあ、いよいよ始まる令和8年度、この花たちに負けないように、私たちも笑顔を満開に咲かそうね。よろしくお祈いします。
6山より